

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第3学年	
教科等名	国語	グループ名	2 類型A	
ねらい	(1) 日常生活や社会生活に必要な基礎的な言語理解を深める (2) 身振り、言語、文字、カードなどによるコミュニケーション力を育てる。 (3) コミュニケーションに必要な語彙を増やし、言語活動の能力向上を図る態度を養う。			
担当教員	○三中西 純			
年間授業時数	84 単位時間			
使用教科書	なし			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫	備考
通年	身近な文字 と言葉 図書室の利 用	28	○平仮名、片仮名、漢字のなぞり書き、書写 ○身近な言葉のマッチング ◆平仮名、片仮名、漢字を正しく読み書きする。 ◆身近な言葉を理解し、イラストや文字カードなどと一致できる。 □生徒の実態、課題に合わせて、個別に指導、支援する。 □ICT機器を活用する。 ○図書室の利用方法 ◆図書室の利用方法を知る。 ◆自分で興味・関心のある本を選ぶことができ、落ち着いて読み聞かせを聞いたり、自分で読んだりすることができる。 □必要によって言葉掛けを行う。	
4 5	身近な言葉 挨拶 敬語	10	○身近な言葉の聞き取り、コミュニケーション ◆日常生活で使われる言葉を理解して、使うことができる。 ◆名前や気持ちなどをイラストや文字カード、言語で表すことができる。 □生徒の実態、課題に合わせて個別に支援、指導する。 □カードや具体物などを利用して、視覚的に分かりやすくする。 □ICT機器を活用する。	
6 7	表現	10	○短文、日記 ◆いつ、どこで、何をしたということを短文で表すことができる。 ◆友達の発表を聞くことができる。 □簡潔に例示をして、分かりやすくする。 □生徒によく聞き取りをしながら、短文をまとめる。	
9	鑑賞①	4	○物語の鑑賞 ◆5～10分程度の物語を鑑賞して、内容を理解する。 ◆面白かったこと、印象的なことを発表できる。 □登場人物や出来事などをイラストや映像を用いて、分かりやすく振り返る時間を設定する。	

10	伝統芸能	4	<p>○落語、狂言</p> <p>◆落語や狂言など日本の伝統的芸能を鑑賞し、表現することができる。</p> <p>□視聴覚教材を有効に取り入れる。</p> <p>□落語では、印象的なセリフを復唱したり、面白かった点を選択したりするなどの場面を設定する。</p> <p>□狂言では、狂言の動きを真似てみるなど表現の場面を設定する。</p>
11	鑑賞②	4	<p>○物語の鑑賞</p> <p>◆映画などの物語を鑑賞し、内容を理解する。</p> <p>◆面白かったこと、印象的なことを発表できる。</p> <p>□生徒が興味・関心のある題材を選定する。</p> <p>□ICT機器を活用する。</p>
12	手紙の書き方	4	<p>○手紙の書き方</p> <p>◆お礼状や年賀状の書き方を知り、書く。</p> <p>□具体的な見本を用意する。</p> <p>□生徒の実態、課題に合わせ、個別に指導、支援する</p>
1	伝統芸能と遊び	4	<p>○書初め、正月遊び</p> <p>◆書初めやかるとなどの正月遊びを体験して、表現する。</p> <p>□見本を提示する。</p> <p>□生徒が興味・関心のある題材を選定する。</p>
1 2 3	卒業にむけて	20	<p>○卒業文集、門出の言葉</p> <p>◆出来事を思い出し、短い文章や単語で表す。</p> <p>□出来事を絵や写真などで思い出し、それらを切り貼りしたり、文字で書いたりして表現する。</p> <p>□生徒の実態、課題に合わせ、個別に指導、支援する。</p> <p>□ICT機器を活用する。</p>

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	3年	
教科等名	国語	グループ名	2 類型 B	
ねらい	(1) 社会生活に必要な国語に関する知識・技能を高める。 (2) 自らの思いや考えをまとめ、言葉で表現する力を身に付ける。 (3) 言葉を聞き取り、思いを伝えようとする態度を養う。			
担当教員	○土井 幸治			
年間授業時数	84 単位時間			
使用教科書	なし			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫	備考
4	身近なことば	14	○身近な言葉と文字（平仮名、片仮名、漢字）の模写、書写、書字 ◆身近な言葉を理解し、イラストや文字カードなどと一致することができる。 ◆撥音、長音、拗音に注意しつつ、言葉を正しく読み書きすることができる。 □授業中に発音する機会を設け、言葉と文字の関わりを意識できるようにする。	
5	社会生活に必要な挨拶	14	○日常で使われるやりとり・挨拶 ◆社会生活において必要な挨拶や言葉のやり取りについて理解する。 ◆様々な場面で挨拶や言葉のやり取りをすることができる。 □実際にことばのやり取りを行うなど、体験的な活動を取り入れる。	
6	身近な表現に親しむ	14	○短文での表現（日記・手紙） ◆自分の気持ちを一文程度の言葉で表現することができる。 ◆丁寧な字を書こうとする態度を身に付ける。 □個々の実態に合わせた教材や提示方法の工夫を行う。	
7 9	鑑賞①	9	○短文の理解（詩・物語） ◆聞いた内容や絵・文字等による表現を理解する。 ◆話の内容を落ち着いて聞き取ろうとする態度を身に付ける。 □幅広い読書に親しむため、図書室の活用を行う。	
10	伝統芸能	8	○日本の言語文化 ◆俳句やことわざなどの伝統的な言語文化を知り、使うことができる。 □カードやかるたなどを用いた活動を取り入れる。	
11	鑑賞②	6	○名作の鑑賞（物語・映画） ◆登場人物の心情などをおおまかに理解することができる。 ◆落ち着いて名作を鑑賞する態度を養う。 □ICT 機器を活用する。 □生徒の経験や興味・関心に基づいた作品を選ぶ。	
12	卒業にむけて	7	○卒業文集 ◆学校での学習や出来事を思い出し、絵や短い文章で表現することができる。 □ICT 機器を活用する。	

1	書写	7	<input type="radio"/> ペンや毛筆を用いた書き方 <input checked="" type="radio"/> ペンや毛筆での表現を体験する。 <input type="checkbox"/> 視覚教材や参考資料を有効に活用する。	
2 3	一年間の振り返り	5	<input type="radio"/> 門出の言葉 <input checked="" type="radio"/> 学校での学習や思い出深いことを絵や短い文章で表現する。 <input type="checkbox"/> ICT 機器を活用する。	

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	3年	
教科等名	国語	グループ名	2 類型C	
ねらい	(1) 日常生活や社会生活に必要な基礎的な言語理解を高める。 (2) 文章の要点をまとめ、自分の考えを表現する力を身に付ける。 (3) 他者の意見を受け入れ、相手や状況に応じてコミュニケーションを図る力を身に付ける。			
担当教員	○平沼 望			
年間授業時数	84 単位時間			
使用教科書	「ひとりだちするための国語」(日本教育研究出版)			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい(評価の観点) □指導の工夫	備考
4	挨拶 インタビューをしよう	8	○挨拶の仕方 ◆TPOに合わせた挨拶の言葉を学ぶ。 □視覚的に例示し、分かりやすくする。繰り返し練習する。 ○インタビュー、他己紹介 ◆友達や教員、家族にインタビューをして、必要な情報を聞き取る。 ◆質問の意図を理解して答える。 □ワークシートを使用して要点をまとめられるようにする。	
5	表現力を高めよう	8	○丁寧語・尊敬語・謙譲語の生活の中での正しい使い方。 ◆色々な生活場面の中で、正しい言葉遣いを選択し、活用する。 □敬語の種類、使い分けを説明後、プリントやロールプレイで確認し、使えるようにしていく。	
6 7 9	文章読解	22	○物語の鑑賞・文章読解 ◆登場人物の気持ちを考え、表現する。 ◆時系列を整理したり、事実と主観を分けて考えたりすることで読解力を高める。 □生徒になじみのある教材を用意して、興味・関心を引き出す。 □ワークシートを利用してまとめやすくする。	
10	ことわざ 慣用句	10	○慣用句・ことわざの学習 ◆会話などの中で用いられる慣用句やことわざの意味や用法を知る。 □ロールプレイなどを活用し、実際の場面を想定して学習する。 □ゲームやカルタなど遊びを取り入れながら、興味・関心を引き出すようにする。	
11 12	文集をつくろう	10	○卒業文集 ◆学校での学習や出来事を思い出し、絵や短い文章で表現することができる。 ◆主語・述語などを意識しながら、自分の気持ちを表現する。 □ワークシートを活用し、文章構成を意識しながら書くことができるようにする。	

1 2	書写 百人一首	10	<p>○書写</p> <p>◆毛筆や硬筆を用いた書写に親しむ。</p> <p>□書き順やとめ、はねに注意を払うよう支援する。</p> <p>○百人一首</p> <p>◆かるたを通して日本古来の文化になじむ機会をもつ。</p> <p>□ゲームを楽しみつつ、和歌の説明を入れる。</p>	
3	三年間の振り返り	8	<p>○門出の言葉</p> <p>◆三年間の思い出深い出来事を絵や短い文章で表現する。</p> <p>□三年間の思い出を時系列に並べたり、写真を見せたりして、出来事や経験したことを思い出しやすくする。</p>	
通年	漢字 日常生活に必要な言葉	8	<p>○日常生活で使用する漢字の学習</p> <p>◆身近な言葉と文字を模写、書写などをして体得する。</p> <p>□生徒の習熟度に応じて、個別の課題を用意する。</p> <p>○日常生活に必要な国語に関する言葉</p> <p>◆身近な言葉や文章の理解を高める。</p> <p>◆自分の考えをまとめて、伝え合う力を高める。</p> <p>□生徒の実態、課題に合わせ個別に支援する。</p>	

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第3学年	
教科等名	国語	グループ名	2類型D	
ねらい	(1)日常生活で活用できる言葉を増やす。 (2)自分の気持ちなどを、文章構成を意識しながら表現する。 (3)日本の伝統文化に関心を持ち、言葉への関心を高めながら、使おうとする態度を養う。			
担当教員	○三田 敬一郎			
年間授業時数	84 単位時間			
使用教科書	「ひとりだちするための国語」(日本教育研究出版)			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい(評価の観点) □指導の工夫	備考
通 年	日常生活で用 いる言葉や文 章	10	○漢字の視写・書き取り ◆身近なものや好きなものの漢字を読んだり書いたりする。 □繰り返し学習に取り組み、知識の定着を図る。 ○主語と述語を意識した読み方、聞き方、文章の作成。 ◆主語と述語の合った、筋の通った文章の作成。 □主語と述語の関係を説明した後、文を作成し、確認する。	
4 5	表現力を高め よう(1)	6	○丁寧語・尊敬語・謙譲語の生活の中での正しい使い方。 ◆色々な生活場面の中で、正しい言葉遣いを選択し、活用することができる。 □敬語の種類、使い分けを説明後、プリントやロールプレイで確認し、使えるようにしていく。	
6 7	文章の読解	9	○説明文の読解・内容理解 ◆何についての説明かを大まかに捉えることができる。 □説明されている箇所と、その対象になっている事柄に印をつけ、捉えやすくする。	
	表現 単語や 短文の表現 (手紙など)	9	○手紙の書き方 ◆目的の違いによる手紙の書き方を理解し、書くことができる。 □「手紙の書き方」などの冊子を利用し、書き方の練習をする。	
9	語彙を増やそ う(2)	8	○慣用句・ことわざの学習 ◆会話などの中で用いられる慣用句やことわざの意味や用法を知る。 □ロールプレイを活用して、実際の場面を想定して学習する。	
10 11 12	文章の読解	13	○物語の鑑賞・内容理解 ◆物語を短時間集中して、鑑賞する。 ◆登場人物の気持ちを考え、表現する。 □段落ごとに読み進めたり、登場人物に印をつけ、理解する。	
	文集をつくら う	10	○文集の作成 ◆3年間を振り返り、文章にまとめる。 ◆主語・述語などを意識しながら、自分の気持ちを表現する。 □ワークシートを活用し、文章構成を意識しながら書くことができるようにする。	

1 2 3	書初めやカル タを体験しよ う	19	○伝統芸能とあそび ◆毛筆を使って、新年の抱負などを書く。 ◆日本の伝統文化を体験する。 □事前に手本を見せ、視覚的に分かりやすいようにする。	
-------------	-----------------------	----	--	--

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第3学年	
教科等名	社会	グループ名	2 類型A	
ねらい	(1) 日本の様々な地域の地理や歴史を知り、自分の生活との関連を知る。 (2) 自分にとってよりよい選択について考え、適切に表現する力を養う。 (3) 社会の様子や仕組みに関心をもち、社会の一員としての態度や自覚を育てる。			
担当教員	○上條 正人			
年間授業時数	18 単位時間			
使用教科書	「読んで見て楽しむ日本地図帳増補改訂版」(学研プラス)			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい(評価の観点) □指導の工夫	備考
10 11	都道府県の特徴を知ろう	7	○各都道府県特有の名産品や地理、文化、生活の特徴について ◆各都道府県の特徴を知る。 ◆各都道府県の特徴と自分の住んでいる地域との差を知る。 □ICT機器を利用して、視覚的に分かりやすいようにする。 □興味・関心を引き出しやすい題材を用意する。	
12 1	社会のきまり	7	○くらしと社会 ◆社会生活を知る上で必要になるきまりを知る。 ◆身近なニュースに関心をもつ。 □ICT機器を利用して、視覚的に分かりやすいようにする。 □身近に感じられる題材を取り扱う。	
2 3	選挙をしよう	4	○選挙のきまりと方法 ◆選挙の仕組みを知る。 ◆具体的な投票の方法を体験する。 □生徒会選挙の時期に合わせ、興味をもって取り組めるようにする。	

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第3学年	
教科等名	社会	グループ名	2 類型B	
ねらい	(1) 日本各地の地理的環境や歴史・伝統・文化など具体的な体験を通して知る (2) 社会的事象について、自分の生活と結び付けて具体的に考える。 (3) 社会の様子や仕組みに関心をもち、社会の一員としての態度を育てる。			
担当教員	○三中西 純			
年間授業時数	18 単位時間			
使用教科書	「読んで見て楽しむ日本地図帳増補改訂版」(学研プラス)			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい(評価の観点) □指導の工夫	備考
10 11	我が国の 国土の様子 と国民生活、 歴史	7	○各都道府県の地理、文化、生活について ◆各地域の地理的な特徴や歴史・伝統・文化について知り、興味・ 関心をもつ。 □写真や動画などを活用し、視覚的支援を多く用いる。 □身近な興味・関心のあることから展開していく。	
12 1	くらしと 社会	7	○公共施設の使い方 ◆身近な公共施設の役割と使い方を知る。 □具体例を出したり、映像を視聴したりすることで視覚的に分かり やすくする。 □ロールプレイを取り入れ、考える場面を設定する。 ○社会生活のルール ◆社会生活を知る上で必要になるルールを知る。 □法律やきまりなど、身近に感じられるテーマを扱う。	
2 3	社会参加と 選挙	4	○選挙の仕組み、投票のやり方 ◆選挙についての仕組みを知る。 ◆具体的な投票の方法を知る。 □具体物を利用しながら、ロールプレイを行うことで具体的な選挙 の方法への理解を深める。	

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第3学年	
教科等名	社会	グループ名	2 類型C	
ねらい	(1) 日本の様々な地域の地理や歴史を知り、自分の生活との関連に気付く。 (2) 自分にとってより良い選択について考え、適切に表現する力を養う。 (3) 社会の様子や仕組みに関心を持ち、社会の一員としての態度や自覚を育てる。			
担当教員	○伊藤 裕章			
年間授業時数	18 単位時間			
使用教科書	「くらしに役立つ社会」(東洋館出版社) 「読んで見て楽しむ日本地図帳増補改訂版」(学研プラス)			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい(評価の観点) □指導の工夫	備考
10 11	日本を見渡そう	6	○各都道府県の地理的事象やくらし ◆各地方の独自のくらしや文化について理解する。 ◆産業などにおける自分の住んでいる地域との結びつきを知る。 □写真や動画など、視覚的支援を多く用いる。	
12	社会のきまり	6	○くらしと社会 ◆社会生活を知る上で必要になるきまりを知る。 ◆身近なニュースに関心をもつ。 □税制度など、身近に感じられるテーマを扱う。	
1 2 3	選挙をしよう	6	○選挙のきまりと方法 ◆選挙制度について知る。 ◆立候補者を比較し、投票先を選択する。 □生徒会選挙の時期に合わせ、興味をもって取り組めるようにする。	

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第3学年	
教科等名	社会	グループ名	2 類型D	
ねらい	(1) 日本の様々な地域の地理や歴史を知り、自分の生活との関連を気付く。 (2) 自分にとってよりよい選択について考え、適切に表現する力を養う。 (3) 社会の様子や仕組みに関心を持ち、社会の一員としての態度や自覚を育てる。			
担当教員	○小俣 晃大			
年間授業時数	18 単位時間			
使用教科書	「くらしに役立つ社会」(東洋館出版社) 「読んで見て楽しむ日本地図帳増補改訂版」(学研プラス)			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい(評価の観点) □指導の工夫	備考
10 11	日本を見渡そう	7	○各都道府県の地理的環境や人々の暮らし ◆各地方の独自の暮らしや文化、地理的環境について理解する。 ◆産業などにおける自分の住んでいる地域との結びつきを知る。 □写真や動画など、視覚教材を多く用いる。	
12 1	社会のきまり	7	○くらしと社会 ◆社会生活を知る上で必要になるきまりを知る。 ◆身近なニュースに関心をもつ。 □税制度など、身近に感じられるテーマを扱う。	
2 3	選挙をしよう	4	○選挙のきまりと方法 ◆選挙制度について知る。特に18歳選挙権について。 ◆立候補者を比較し、自分で投票先を選択する。 □生徒会選挙の時期に合わせ、興味をもって取り組めるようにする。	

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第3学年	
教科等名	数学	グループ名	2 類型 A	
ねらい	(1) 数や図形などについての基礎的な概念や性質を理解し、数学的に解釈したり処理したりする技能を身に付ける。 (2) 日常の事象を数理的に捉え、数学的な表現を用いて簡潔に表現する力を養う。 (3) 数学的活動の楽しさに気付き、数学的に処理したり判断したりして、数学を生活や学習に活用しようとする態度を養う。			
担当教員	○阪下 香奈			
年間授業時数	59.5 単位時間			
使用教科書	ゆっくりさんすうプリント 10までのかず(小学館)			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい(評価の観点) □指導の工夫	備考
4 5	図形	10.2	○身近な形 ◆具体物を用いて形を作ることができる。 □見本を見ながら直線のものを使って同じ形を作ることができるようにする。 □生徒の学習状況の実態を確認し、実態応じて個別課題などを用意したり、STと個別指導したりして、学習を進める。	
6 7	数と計算	11.9	○身近な数量 ◆ものとものを対応させて物の個数を比べることができる。 ◆0の意味について分かる。 □実際に具体物を操作して課題に取り組む。 □生徒の学習状況の実態を確認し、実態応じて個別課題などを用意したり、STと個別指導したりして、学習を進める。	
9	数と計算	6.8	○身近な数 ◆一つの数を二つに分けることができる。 □実際に具体物を操作して課題に取り組む。 □生徒の学習状況の実態を確認し、実態応じて個別課題などを用意したり、STと個別指導したりして、学習を進める。	
10 11 12	数と計算	15.3	○身近な数 ◆二つの数を一つの数にまとめて表すことができる。 □実際に具体物を操作して課題に取り組む。 □生徒の学習状況の実態を確認し、実態応じて個別課題などを用意したり、STと個別指導したりして、学習を進める。	
1 2 3	測定	15.3	○長さ、重さ、高さ、広さ ◆長さ、高さ、広さなどの量が分かる。 □生徒が実感できる題材を使用し、感覚的に理解できるように配慮する。 □生徒の学習状況の実態を確認し、実態応じて個別課題などを用意したり、STと個別指導したりして、学習を進める。	

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部		学 年	第3学年
教科等名	数学		グループ名	2 類型 B
ねらい	(1) 数や図形などについての基礎的な概念や性質を理解し、数学的に解釈したり処理したりする技能を身に付ける。 (2) 日常の事象を数理的に捉え、数学的な表現を用いて簡潔に表現する力を養う。 (3) 数学的活動の楽しさに気付き、数学的に処理したり判断したりして、数学を生活や学習に活用しようとする態度を養う。			
担当教員	○伊藤 裕章			
年間授業時数	59.5 単位時間			
使用教科書	ゆっくりさんすうプリント 10までのかず(小学館)			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい(評価の観点) □指導の工夫	備考
4 5	数と計算	16	○2位数の除法と概要 ◆日常の場面で計算が利用されていることに関心を持ち、具体的な場面で活用ができる。 ◆四則の混合した式や()を用いた式について理解し、正しく計算する。 □それぞれの生徒に合った視覚支援を用意する。	
6 7	図形	12	○速さと割合 ◆速さなどの単位量当たりの大きさの意味及び表し方を理解する。 □身の回りにあるものの単位を使用する。	
9	時間・暦	8	○時計の読み取り ○カレンダーを用いた日付・曜日の確認 ◆時刻と時間の概念を理解することができる。 ◆校外学習や修学旅行などの具体的な、時間や暦が分かり、時間の流れに沿った見通しがもてる。 □それぞれの生徒に合った視覚支援を用意する。	
10 11 12	数と計算	13	○さまざまな計算 ○電卓での計算 ◆電卓で正しい数字や記号を入力することができる。 ◆四則に関して成り立つ性質について理解を深める。 □生徒の実態に応じて、問題の難易度を変える。	
1 2 3	図形	10, 5	○様々な色や形の中からの必要な情報の選択 ◆三角形、平行四辺形、ひし形、台形などの形の違いが分かる。 ◆具体的な生活の場面でも形の違いを認識し、活用することができる。 □それぞれの生徒に合った視覚支援を用意する。	

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第3学年	
教科等名	数学	グループ名	2 類型C	
ねらい	(1) 図形や物の形などについての基礎的な概念や性質を認識し、合成・分解・分類する技能を身に付ける。 (2) 日常生活に必要な数量の処理や計算方法を理解する。 (3) 実践的に金銭や時計などの読み方や扱い方の経験を積む。 (4) ものの大きさや長さなどを比較する力を育む。			
担当教員	○前野 浩一			
年間授業時数	59.5 単位時間			
使用教科書	ひとりだちするための算数・数学(日本教育研究出版)			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい(評価の観点) □指導の工夫	備考
4 5	オリエンテーション (2年生までの振り返り) 時間 図形	10	○オリエンテーション ◆2年生までに学んできた内容について振り返り・確認をする。 ◆1年間の中で学ぶ内容について見通しをもつ。 ○時刻と時間 ◆何時何分の時刻を読み取ることができる。 ◆生活に活かせる時間の計算方法を知る。 ○形の合成・分解 ◆様々な図形を作ったり、日常的なものの中から類似した図形を操作したりすることができる。 ◆図形を見て視写する。 ○平面図と多面体 ◆実際に平面図を操作し立方体を作り、立方体の特徴を知る。 □動画放送などを利用し理解を深める。	
6 7 9	数量 計算	15	○分数 □具体物を実際に分けたり、紙を切ったりする活動を通して、分母と分子の違いを理解する。 ○加減算 ◆10までの合成・分解の理解を深める。 ◆2位数、3位数の計算の正確性を高める。 ○乗除算 □束になった数え方や分数の学習を通して理解したことを活用したり、電卓を使ったりする。 □電卓を使用し、プリント学習を行う。	
10 11 12	金銭	20.5	○硬貨、紙幣の種類と分類 ○硬貨、紙幣の計算 ◆合計やおつりの計算ができる。 □電卓を使用し、プリント学習を行う。 ○買い物 ◆実践的な経験を積み、金銭の扱い方を身に付ける。 □繰り上がりの計算の理解力と並行して行う。	
1 2 3	量と測定	14.5	○測定と単位 ○計量 ◆ものの長さや重さを測定の比較することができる。 ◆生活の中で使う単位を知る。 □日常生活で使用する単位を教材とする。	

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第3学年	
教科等名	数学	グループ名	2 類型D	
ねらい	(1) 数や図形などについての基礎的な概念や性質を理解し、数学的に解釈したり処理したりする技能を身に付ける。 (2) 日常の事象を数理的に捉え、数学的な表現を用いて簡潔に表現する力を養う。 (3) 数学的活動の楽しさに気付き、数学的に処理したり判断したりして、数学を生活や学習に活用しようとする態度を養う。			
担当教員	○上杉 侑里子			
年間授業時数	59.5 単位時間			
使用教科書	ひとりだちするための算数・数学(日本教育研究出版)			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい(評価の観点) □指導の工夫	備考
4 5	オリエンテーション (2年生までの振り返り) 図形①	10	○オリエンテーション ◆2年生までに学んできた内容について振り返り・確認をする。 ◆1年間の中で学ぶ内容について見通しをもつ。 □ICT機器等活用し、視覚的に見通しがもてるように支援方法を工夫する。 ○平面図形の面積 ◆三角形、平行四辺形、ひし形、台形を計算によって面積を求める。 □これまで学んできた図形について振り返りながら、面積を求める公式の違いを覚えられるようにする。	
6 7 9	速さ データの活用	15	○速さと割合 ◆速さなどの単位量当たりの大きさの意味及び表し方を理解する。 ◆二つの量の割合として計算する方法を学ぶ。 □実際に生徒自身が走る等、体験的な活動を取り入れながら学習内容を工夫する。 □生徒の実態に合わせた、身近な事柄を用いた教材を用意する。 ○円グラフと帯グラフ ◆円グラフと帯グラフの意味や使い方を理解する。 ◆問題を解決するために適切なグラフを選択し、結論について多面的に考察する。 □ICT機器を活用し、実際にエクセルを用いながら円グラフや帯グラフを作成する。 □身近な事柄に関する内容をインターネットなどで検索し、生徒がイメージして取り組みやすい内容を設定する。	

10 11 12	数と計算 図形②	20.5	○さまざまな計算 ◆四則に関して成り立つ性質について理解を深める。 □足し引きなどの順番を変えることで、答えの変化があることを実際に取り組みせながら理解を深められるようにする。 ○立体の見取り図と展開図 ◆立方体、直方体について知る。 ◆直線や平面の平行や垂直の関係について理解する。 ◆見取り図、展開図について知る。 □方眼紙等用いながら、実際に立体を作成し、操作しながら空間認知を高められるようにする。 □日常生活で使用している物を活用し、平行や垂直について体験的に学ぶ活動を取り入れる。	
1 2 3	データの活用	14.5	○平均 ◆平均の意味や求め方を理解する。 □身近な事柄を用いながら、生徒がイメージしやすい学習内容を設定する。 ○3年間の総合まとめ ◆これまで高等部で学んできた学習内容を振り返る □基本的な加減乗除の計算方法から、図形などの学習まで、これまでのプリントなどを見ながら振り返りを行う。	

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第3学年	
教科等名	理科	グループ名	2 類型A	
ねらい	(1) 自然の事物・現象についての基本的な理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。 (2) 観察、実験などを行い、解決の方法を考える力と、より妥当な考えをつくりだす力を養う。 (3) 自然を愛する心情を養うとともに、学んだことを主体的に生活に生かそうとする態度を養う。			
担当教員	○上條 正人			
年間授業時数	17 単位時間			
使用教科書	なし			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫	備考
4 5 6	地球・自然	8	○天気の変化 ◆四季ごとの気候の特徴（天気、植物、気温等）を知る。 □映像などを活用し、視覚的に分かりやすくする。	
6 7	物質・エネルギー	3	○電流の動き ◆実験を通して、科学の力を知る。 □体験活動を通して、科学の力を知る。 □ICT機器を利用して、視覚的に分かりやすくする。 □繰り返し学習して、知識の定着を図る。	
7 9	生命	6	○動物の誕生と成長 ◆動物には雌雄があり、雌雄によって性差があることを知る。 ◆動物の雌雄の違いを見分けることができる。 ◆動物には卵生と胎生があることを知る。 □ICT機器を利用して、視覚的に分かりやすくする。 □繰り返し学習して、知識の定着を図る。	

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第3学年	
教科等名	理科	グループ名	2 類型 B	
ねらい	(1) 自然の事物・現象についての基本的な理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。 (2) 観察、実験などを行い、解決の方法を考える力と、より適当な考えを思い付くつく力を養う。 (3) 自然を愛する心情を養うとともに、学んだことを主体的に生活に生かそうとする態度を養う。			
担当教員	○三中西 純			
年間授業時数	17 単位時間			
使用教科書	なし			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫	備考
4 5	地球・自然	6	○天気の変化 ◆観察する中で、天気の変化と雲の量や動き、風の向き、気温との関係について予想や仮説を立てて、考える。 □観察の記録を取り、天気の変化が分かりやすくする。 □映像などを活用し、視覚的に分かりやすくする。	
6 7	物質・エネルギー	7	○電流の動き ◆実験することで、乾電池のつなぎ方や個数によって、豆電球の明るさやモーターの回り方が変わること気付く。なぜかを予想して考える。 □具体物を操作することで、実際に体験し、豆電球の明るさやモーターの回転数などの変化に気付くきっかけとする。 □映像などを活用し、視覚的に分かりやすくする。	
9	生命	4	○動物の誕生と成長 ◆動物には雌雄があり、雌雄によって性差があることを知る。 ◆動物には卵生と胎生があることを知る。 ◆動物は成長により、体のつくりが変わっていくことを知る。 □映像などを活用し、視覚的に分かりやすくする。	

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第3学年	
教科等名	理科	グループ名	2 類型C	
ねらい	(1) 自然の事物・現象についての基本的な理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。 (2) 観察、実験などを行い、疑問をもつ力と予想や仮説を立てる力を養う。 (3) 自然を愛する心情を養うとともに、学んだことを主体的に日常生活や社会生活などに生かそうとする態度を養う。			
担当教員	○伊藤 裕章			
年間授業時数	17 単位時間			
使用教科書	「くらしに役立つ理科」(東洋館出版社)			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい(評価の観点) □指導の工夫	備考
4 5	地球・自然	7	○天気の変化 ◆天気の変化の仕方と雲の量や動きとの関係についての予想や仮説を考え、表現する。 □視覚的に分かりやすい教材を使用する。 □実際に外に出て観察をする。	
6 7	物質・エネルギー	6	○電流の動き ◆乾電池の数やつなぎ方を変えると、電流の大きさや向きが変わり、豆電球の明るさやモーターの回り方が変わることに気付く。 □実験を行い、自分自身の目で確認できるようにする。 □実験器具の使い方や実験方法を視覚的に提示する。	
9	生命	4	○動物の発生や成長について ◆魚には雌雄があり、生まれた卵は日がたつにつれ中の様子に変化してかえることを知る。 ◆人は、母体内で成長して生まれることを理解する。 □写真や映像などの視覚教材を使用する。	

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第3学年	
教科等名	理科	グループ名	2 類型D	
ねらい	(1) 自然の事物・現象についての基本的な理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。 (2) 観察、実験などを行い、疑問をもつ力と予想や仮説を立てる力を養う。 (3) 自然を愛する心情を養うとともに、学んだことを主体的に日常生活や社会生活などに生かそうとする態度を養う。			
担当教員	○小俣 晃大			
年間授業時数	17 単位時間			
使用教科書	「くらしに役立つ理科」(東洋館出版社)			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい(評価の観点) □指導の工夫	備考
4 5	地球・自然	5	○天気の変化 ◆天気の変化の仕方と雲の量や動きとの関係についての予想や仮説を考え、表現する。 □視覚的に分かりやすい教材を使用する。 □実際に外に出て観察をする。	
6 7	物質・エネルギー	6	○電流の動き ◆乾電池の数やつなぎ方を変えると、電流の大きさや向きが変わり、豆電球の明るさやモーターの回り方が変わることに気付く。 □実験を行い、自分自身の目で確認できるようにする。 □実験器具の使い方や実験方法を視覚的に提示する。	
9	生命	6	○動物の発生や成長について ◆魚には雌雄があり、生まれた卵は日がたつにつれ中の様子に変化してかえることを知る。 ◆人は、母体内で成長して生まれることを理解する。 □写真や映像などの視覚教材を使用する。	

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部		学 年	第3学年	
教科等名	音楽		グループ名	2 類型 A B	
ねらい	(1)音楽に興味関心をもち、友達と関わりながら楽しむ心を育てる。 (2)曲想と体の動きの関わりを理解し、自己表現の幅を広げる。 (3)幅広い音楽や参加型の音楽活動を取り入れ余暇活動のきっかけ作りにする。				
担当教員	○戸倉 明代				
年間授業時数	70 単位時間				
使用教科書	MY SONG 6 訂版 (教育芸術社)				
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい (評価の観点) □指導の工夫	備考	
4	歌唱	35	○「校歌」「行事の曲」「季節の曲」 ◆儀式や季節の曲などを身振りや歌唱で表現できる。	・個別対応が必要な生徒へは、教員を配置し配慮する。 ・視覚的な教材としてCD、DVDを活用する。	
5	リズム、 身体表現		◆身近な歌の歌唱・鑑賞や歌詞に合う身振りを覚え表現できる。 □繰り返し取り組むことで、歌詞や曲調を覚える。		
6			○リズム・身体表現		
7	鑑賞		◆旋律や伴奏などに合わせた身体での表現、小物楽器などでのリズム表現ができる。 □スモールステップで段階的に進めていく。		
8			○鑑賞		
9			◆様々な種類の楽器を知ることができる。 ◆絵や映像などで音色や楽器の特色を知ることができる。 □生徒が興味・関心をもてるような題材を用意する。		
10	身体表現		20		○身体表現
11					◆音楽やリズムに合わせて身体での表現ができる。 □視覚的な例示や、教員と一緒に取り組むなどで分かりやすくする。
12	器楽 鑑賞				○器楽 ◆自分の担当楽器の演奏部分を覚え演奏できる。 ◆自分で選択した楽器を用いて演奏表現ができる。 □できたら称賛して、意欲につなげる。 ○鑑賞 ◆友達の演奏に注目して、聴くことができる。 □生徒が興味・関心をもてるような題材を用意する。 ◆曲の特徴や作曲家について知り、音や映像を見ながら聴くことができる。
1	歌唱	15	○歌唱「国歌」、「卒業式関連曲」		
2			◆3年間の思い出や学んできたことを振り返り、気持ちを込めて歌うことができる。		
3	鑑賞		◆式典の「国歌」などいくつかの曲を聴き、厳粛な雰囲気合う式典における歌唱のマナーを知り、心を込めて歌うことができる。 □繰り返し取り組むことで、歌詞や曲調を覚える。 ○鑑賞「日本民謡」 ◆日本の民謡に触れ、曲の特徴に興味をもつ。 □生徒が興味・関心をもてるような題材を用意する。		

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部		学 年	第3学年
教科等名	音楽		グループ名	2 類型CD
ねらい	(1) 周りの音の響きに合わせて歌うことや楽器演奏することなど、音楽活動に意欲的に取り組もうとする力を育む。 (2) 曲の雰囲気や楽器に音色の変化を感じ取りながら聴く。 (3) 様々な音楽について興味・関心をもち、豊かな情操を培う。			
担当教員	○植松 千絵			
年間授業時数	70 単位時間			
使用教科書	MY SONG 6 訂版 (教育芸術社)			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい (評価の観点) □指導の工夫	備考
4 5	身体表現 歌唱 器楽	15	○身体表現「ボディーパーカッション」 ◆リズムに合わせて手拍子を行い、いろいろなリズムを覚える。 □配慮が必要な生徒には適宜 ST が個別に対応する。 ○歌唱「音程を意識して歌おう」 ◆正しい音程で歌唱する。 ◆曲の盛り上がりに応じた声の大きさを意識して歌う。 ○器楽 ◆楽器の種類や演奏方法を知り、正しい音の出し方を知る。	
6 7	器楽 鑑賞	15	○器楽「器楽合奏」 ◆楽器の種類や演奏方法を知り、正しい音の出し方を知る。 ◆仲間とリズムやテンポを合わせて演奏することができる。 □個別練習の時間を確保し、MT と ST が生徒の様子を見て回る。 □必要な生徒には個々に指導できるようにする。 □生徒の実態に合わせて楽譜の作成を行う。 ○鑑賞「交響曲」「協奏曲」の特徴や雰囲気を味わおう ◆曲の特徴や雰囲気を味わい、楽器の音色の変化を理解する。 □静かに聞くことができるように事前にルールを示す。	
9	器楽	5	○器楽「音の重なりを意識して合奏しよう」 ◆楽器の特色や音色が分かり、音の重なりを意識して演奏する。 □イメージをもちやすくするために、手本を示したり、視覚的な教材を用意したりする。	
10 11 12	歌唱 創作	15	○歌唱「重なりを意識して合唱曲を歌おう」 ◆歌詞の内容から曲想について考え歌唱する。 ◆曲の盛り上がりに応じた声の大きさを意識して歌う。 □視覚的な映像を用意し、関心が高められるようにする。 ○創作「旋律を制作しよう」 ◆自分の好みの音、リズム、テンポを組み合わせて、旋律を作る。 □さまざまなリズムを提示し、パターンを増やす。	
1 2 3	歌唱 鑑賞	20	○歌唱「君が代」「卒業式の歌」「Believe」「そのままの君で」 ◆式典に向けて、国歌に親しみ、大きな声で歌う。 ◆式典での歌唱時のマナーを意識する。 □教員が分かりやすく手本を示す。 ○鑑賞「世界の音楽の特徴や文化を知ろう」 ◆世界の国歌に触れ、曲の特徴に興味をもつ。 ◆世界の民族音楽や楽器を知り、各国の文化について知識を広げる。 □身近な音楽を題材に設定する。	

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部		学 年	第3学年
教科等名	美術		グループ名	2 類型A B
ねらい	(1)素材の性質や変化を感じながら、表現活動を楽しむ。 (2)見たこと、感じたこと、考えたことを表現する力を育てる。 (3)表現及び鑑賞の能力を高め、豊かな情操を培う。			
担当教員	○原田 智代 ○薄田 文子			
年間授業時数	59.5 単位時間			
使用教科書	「ファインアート 新造形と美術 表現・鑑賞」(浜島書店)			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい(評価の観点) □指導の工夫	備考
4 5	平面表現 版画	12	○オリエンテーション ◆一年間の活動について知り、見通しをもつ。 □パワーポイント等、視覚教材を用いて提示する。 ○色彩の性質 ◆色の組み合わせを楽しみながら制作する。 □類似色や補色など、相性の良い組み合わせを提示する。 ○スチレン版画 ◆色の重なりを楽しむ □刷る色の順序や用具の使い方を簡潔に示す。	
6 7	立体造形 平面表現	12	○粘土を使った立体表現 ◆素材の変化や感触を楽しみながら制作する。 ◆手元を見て集中して制作に取り組む。 □触ることに抵抗がある生徒には手袋やヘラを用意する。 □参考例や手順を示し、見通しを持てるようにする。 ○折り染め ◆素材の変化に着目しながら、自分なりの表現をする。 □変化が分かりやすいように「折る」「浸す」「開く」と工程を分けて指導する。	
9 10 11	工芸 羽ばたき祭 に向けて	18	○日本の工芸 ◆陶芸、銅板細工、和紙造形など、日本の工芸を経験する。 ◆用具の正しい扱い方を知る。 □新しい素材に積極的に関わることができるように実際に手順や見本を示し、前向きな言葉掛けを行う。 ○展示の装飾、看板製作 ◆着彩したり、紙をちぎったり貼ったりして制作する。 □得意な活動ができるよう作業内容を選べるようにする。	
12	平面表現	6	○モダンテクニックで季節を表現する ◆これまで経験してきた様々な技法を使い、表現する。 □やり方を動画や実演で示し、手順や流れを理解しやすくする。	
1 2 3	卒業に向け て	11.5	○自分なりの表現 ◆これまでの経験をもとに描いたり作ったりする。 □振り返って制作できるよう参考作品や材料を用意する。 ○卒業に向けて～共同制作～ ◆卒業に向けて、友達と協力して大きな平面作品を作り上げる。 □制作パートを分け、活動を分かりやすくする。	

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部		学 年	第3学年
教科等名	美術		グループ名	2 類型CD
ねらい	(1)素材の性質や変化を感じながら、表現活動を楽しむ。 (2)見たこと、感じたこと、考えたことを表現する力を育てる。 (3)表現及び鑑賞の能力を高め、豊かな情操を培う。			
担当教員	○原田 智代 ○薄田 文子			
年間授業時数	59.5 単位時間			
使用教科書	「ファインアート 新造形と美術 表現・鑑賞」(浜島書店)			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい(評価の観点) □指導の工夫	備考
4 5	平面表現 版画	12	○オリエンテーション ◆一年間の活動について知り、見通しをもつ。 □パワーポイント等、視覚教材を用いて提示する。 ○色彩の性質 ◆色の組み合わせを楽しみながら制作する。 □類似色や補色など、相性の良い組み合わせを提示する。 ○スチレン版画 ◆色の重なりを楽しむ □刷る色の順序や用具の使い方を簡潔に示す。	
6 7	立体造形 平面表現	12	○粘土を使った立体表現 ◆素材の変化や感触を楽しみながら制作する。 ◆手元を見て集中して制作に取り組む。 □触ることに抵抗がある生徒には手袋やヘラを用意する。 □参考例や手順を示し、見通しを持てるようにする。 ○折り染め ◆素材の変化に着目しながら、自分なりの表現をする。 □変化が分かりやすいように「折る」「浸す」「開く」と工程を分けて指導する。	
9 10 11	工芸 羽ばたき祭 に向けて	18	○日本の工芸 ◆陶芸、銅板細工、和紙造形など、日本の工芸を経験する。 ◆用具の正しい扱い方を知る。 □新しい素材に積極的に関わることができるように実際に手順や見本を示し、前向きな言葉掛けを行う。 ○展示の装飾、看板製作 ◆着彩したり、紙をちぎったり貼ったりして制作する。 □得意な活動ができるよう作業内容を選べるようにする。	
12	平面表現	6	○モダンテクニックで季節を表現する ◆これまで経験してきた様々な技法を使い、表現する。 □やり方を動画や実演で示し、手順や流れを理解しやすくする。	
1 2 3	卒業に向け て	11.5	○自分なりの表現 ◆これまでの経験をもとに描いたり作ったりする。 □振り返って制作できるよう参考作品や材料を用意する。 ○卒業に向けて～共同制作～ ◆卒業に向けて、友達と協力して大きな平面作品を作り上げる。 □制作パートを分け、活動を分かりやすくする。	

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部		学 年	第3学年
教科等名	保健体育		グループ名	2 類型A B
ねらい	(1) 継続した身体活動の中で、体力や身体の巧緻性の幅を広げる。 (2) 様々な身体活動を通して基本的な体力と技能を習得し、健康な心身を育む。 (3) 運動に主体的に参加し、友達と協力して安全に運動する。			
担当教員	○上杉侑里子			
年間授業時数	192.5 単位時間			
使用教科書	なし			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫	備考
通 年	体づくり 運動	89	○ラジオ体操、準備体操・歩行・朝の体育（ランニング等）・ 身体表現（ダンス的活動） ◆決められた周回や時間を走る。 ◆取り組む内容を理解し、見通しをもって授業に参加する。 ◆音楽やリズムに合わせて、楽しく身体を動かすことができる。 □タイマーや次第表などの視覚的支援を行いながら授業 を行う。 □リズムの取りやすい音楽やダンスを使用する	
4 5	体づくり運 動 新体力テス ト	18.8	○集団行動（姿勢、方向変換、体育座り、集合、歩行、整列（4列 縦隊）、挨拶、礼等） ◆体育の授業の約束やきまりを覚え、見通しをもって活動に参 加する。 ○文部科学省 新体力テスト実施 ◆自己の身体の動きや体力について知ることができる。 □写真や絵カード等の視覚的支援を行う。 □体力テストで行う種目を手本や写真カードを使用しながら、 理解できるようにする。	
6 7 9	器械体操 水泳 剣道	28.2	○マット運動 ◆実態に適した課題に挑戦し、技ができる楽しさや喜び を味わう。 □グループ分けを行いながら実態に応じた支援を行う。 ◆様々な体の動かし方を学ぶとともに、首の入れ方や手 のつき方などを確認し、自分の獲得した技を発表する。 □繰り返し行うことや怪我をしやすい身体の動かし方などを視 覚的に提示する。 ○水慣れ、バタ足、蹴伸び等 ◆水中に慣れ、安全に活動ができる。 ◆安全な方法で、水に浮くことができる。 ◆一定時間、決められた方法で水中を進むことができる。 □浮き具等を用意し、安全に行えるようにする。 □個々の能力に応じたグループ分けを行う。	

			<p>○剣道</p> <p>◆道具の使い方を知る。</p> <p>◆礼儀作法を身につける。</p> <p>□手本や写真カードなどの視覚的支援を行う。</p>	
10 11 12	球技 ダンス	28.5	<p>○ワンベース</p> <p>◆ボールをよく見て蹴ったり捕ったりすることができる。</p> <p>◆ルールを理解することができる。</p> <p>□蹴る、捕る、走るなど部分練習を繰り返し行う。</p> <p>□写真や絵カードなど視覚的支援を行う。</p> <p>○ダンス</p> <p>◆基本技能（各種ステップ、体の動かし方等）を身に付ける。</p> <p>□体を動かしやすい曲で行う。</p>	
1 2 3	長距離走 保健	9.2 9.4 9.4	<p>○長距離走</p> <p>◆決まった時間・距離を自分のペースで走りきれるようになる。</p> <p>□個々の能力に合わせてタイマーや磁石などの教材を使用し、見通しをもちやすくする。</p> <p>○身体の衛生と健康管理</p> <p>◆きれいな手の洗い方や衣類を取り換えについて、自ら考え、自ら取り組めるようになる。</p> <p>□ICT機器を活用し、生徒が視覚的に理解しやすいようにする。</p> <p>○こころとからだの学習</p> <p>◆相手との距離感や関わり方について学び、社会人になる上で必要な知識を身に付ける。</p> <p>□体験的に取り組める教材を用意し、生徒が「よい距離」かどうかを自ら判断する経験を積ませる。</p>	

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部		学 年	第3学年
教科等名	保健体育		グループ名	2 類型CD
ねらい	<p>(1) 各種の運動の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能等や心身の発育・発達、個人生活に必要な健康・安全に関する事柄などを理解するとともに、技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 各種の運動や健康・安全な生活を営むための自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを、他者に伝える力を養う。</p> <p>(3) 各種の運動における多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自己の最善を尽くして自主的に運動をする態度を養う。また、健康・安全に留意し、健康の保持増進と回復に積極的に取り組む態度を養う。</p>			
担当教員	○行縄 昭雄			
年間授業時数	175 単位時間			
使用教科書	新しい保健体育(東京書籍)			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい(評価の観点) □指導の工夫	備考
通年	体づくり運動	89	<p>○周回走・時間走</p> <p>○ストレッチ・筋力トレーニング・エアロビクス</p> <p>◆決められた周回や時間で、自身の体力に合わせて走ることができる。</p> <p>◆体の動きや力強い動き等を意識し、基礎体力をたかめることができる。</p> <p>□生徒の実態に応じて、活動内容を組み合わせて、必要な運動内容を計画する。</p>	
4 5	体づくり運動 球技① (ネット型)	18.8	<p>○体づくり運動 (長距離走、筋力トレーニング、集団行動、体づくり運動、集団行動、新体力テスト)</p> <p>◆集団での整列や行進、隊形移動の方法について全体で確認する。</p> <p>◆新体力テスト等を通して、自身の体力の成長具合について知る。</p> <p>□生徒の立ち位置等をマーカーで示しながら、視覚的に隊形移動等ができるようにする。</p> <p>○卓球</p> <p>◆ボールを打つ等の基本動作の習得、用具の安全な使い方について習得する。</p> <p>□必要に応じて、教員が身体的支援を行いながら、正しいラケットの動かし方等を生徒が習得できるようにする。</p>	
6 7	水泳 保健	28.2	<p>○水慣れ、基本的な泳法(バタ足、クロール等)、着衣泳</p> <p>◆水に少しずつ慣れながら、水による浮力等を感じて体をリラックスさせる方法を知る。</p> <p>◆水難事故等に遭遇した際の、身の安全を確保する方法について学ぶ。</p> <p>□スポンジボール等補助具を用いながら、生徒が安心して力を抜ける活動に取り組めるようにする。</p> <p>□ICT機器を活用し、近年の水難事故防止の方法について机上学習を行った後に、実際に水中での学習を実施する計画を立てる。</p> <p>○疾病の予防と健康管理</p> <p>◆身近な感染症や食中毒等について学び、自身の生活の中で行うこ</p>	

			とができる予防等を覚える。 □他教科の教員や養護教諭と連携し、専門的視点から授業内容を設定してもらえるようにする。	
9	球技② (ネット型)	4.5	○バレーボール ◆基本的なルールを理解、パス、サーブ、レシーブ等の基本動作を身に付ける。 ◆簡単なミニゲームに取り組みながら、仲間と協力しながらゲームを運営する。 □他の競技とのルールや道具の違い等を視覚的に提示し、特性などを理解した上で生徒が取り組めるように工夫する。	
10 11 12	球技③ (ベース型) ダンス	24.5	○テニスボール ◆基本的な動作・技能の習得、用具の安全な使い方について学び、簡単なゲームに参加することができる。 □道具やルールについて、生徒の実態に応じて柔軟に変更しながら授業内容を設定する。 ○身体表現、現代的なリズムのダンス ◆リズムに合わせて、手足や体を上下左右を意識して動かすことができる。 □ICT機器を活用し、生徒同士で動きを撮影しながら、動きを改善したり修正したりすることができるようにする。	
1 2 3	陸上競技 保健	9.2 9.4 9.4	○長距離走、障害物走 ◆自分で時間や周回数について目標を設定し、記録を取りながら達成感を感じながら取り組む。 □生徒が自ら周回数を数えることができるように、教具の工夫をしながら行う。 ○健康や体の変化の理解 ◆自分の心身の成長について理解を深め、社会人になる上での人の距離感や関わり方について学ぶ。 □生徒と実際の場面設定をした模擬授業等を通して、実体験を積み重ねながら自分でどう行動するか考える内容を設定する。	

(合わせた指導の年計)

教科の 時数	授業名	●単元・題材名、○主な 学習内容、()時 数	学習指導 要領	教科
	モルック競技選手権 総合発表会、種目練習 3年生を送る会、ダンス 練習	●保健、生涯スポーツ ○競技内容の説明、ルールの理解、競技練習 ●陸上競技 ○出場種目の練習 ●ダンス ○ダンス練習 ○学年ダンス練習	第1段階 I ア 第1段階 C ア 第1段階 G ア	国語 数学 社会 美術 音楽 総合 生活 特活

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第3学年	
教科等名	職業	グループ名	2 類型 A	
ねらい	(1) 将来の安定した生活を送る上で必要となる「地域」・「職業」・「自立」についての知識や技能を身に付ける。 (2) 「体験」や「相談」を通して卒業後の暮らしと仕事を具体的に考え、自分の課題や良さを見いだして、前向きに取り組む力を養う。 (3) 働く意義や自分の役割に気付き、学んだことを活用し、社会人としての自分や目標について考え、働き続ける態度を養う。			
担当教員	○戸倉 明代			
年間授業時数	35 単位時間			
使用教科書	なし			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫	備考
通年	仕事をする姿勢や態度	5	<input type="checkbox"/> 挨拶 ◆場面や状況に適した挨拶をすることができる。 <input type="checkbox"/> ロールプレイを利用し、体験的に行う。 <input type="checkbox"/> 身だしなみチェック ◆社会人に必要な身だしなみを理解する。 <input type="checkbox"/> イラストを用いて分かりやすくする。 <input type="checkbox"/> 身だしなみチェックシートを使用し、自己評価できるようにする。	
4 5 6	プロフィール作成 ルールとマナー ビジネスマナー	7	<input type="checkbox"/> 自分プロフィール ◆自分の得意なことや苦手なこと等について考える。 <input type="checkbox"/> 実践的に学習して身に付けられるようにする。 <input type="checkbox"/> 公共交通機関の利用、公共の場、実習先でのルールやマナー ◆公共交通機関や公共の場、実習先でのルールやマナーを知り意識できるようになる。 <input type="checkbox"/> イラストを活用して視覚的に支援する。 <input type="checkbox"/> ビジネスマナー「電話の掛け方・取り方」「言葉づかい」 ◆簡単な電話対応を知り、実践できるようになる。 ◆敬語を使えるようになる。 <input type="checkbox"/> 実践的に学習して身に付けられるようにする。	
7 9	仕事について考えよう ①	5	<input type="checkbox"/> 様々な仕事、仕事のやり方 ◆いろいろな仕事があることを知る。 <input type="checkbox"/> 個別に応じた資料や教材を使用する。	
10	仕事について考えよう ②	2	<input type="checkbox"/> 仕事で使う道具や機械について ◆裁断機、コピー機、印刷機、シュレッダー、掃除機等の器械の使用を経験する。 <input type="checkbox"/> 安全に配慮しながら、経験できるようにする。	
11	福祉サービスを知ろう	3	<input type="checkbox"/> 福祉サービスの仕組み ◆身近で使えるサービスや仕組みを知る。 <input type="checkbox"/> イラストを活用して視覚的支援を行う。	
12	働く生活を考えよう	3	<input type="checkbox"/> 卒業後の生活について ◆将来設計、趣味、余暇、健康管理などについて考える。 <input type="checkbox"/> 個別に応じた資料や教材を使用する。	

1 2 3	社会人に向けて もうすぐ社会人	5 5	<p>○私の移行計画「私のこれから」作成</p> <p>◆自分の働く生活について考える。</p> <p>□個々に応じた資料や教材を使用する。</p> <p>○社会人に向けた準備</p> <p>◆身だしなみ、法律、罰則、人権、差別、ハラスメント等、社会を取り巻く事柄を知る。</p> <p>◆ライフキャリア、キャリアアップ、ライフイベント等、これからの人生について考える。(退職、再就職、パートナーとの生活等)</p> <p>□個々に応じた資料や教材を使用する。</p>
-------------	------------------------	------------	--

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第3学年	
教科等名	職業	グループ名	2 類型 B	
ねらい	(1) 将来の安定した生活を送る上で必要となる「地域」・「職業」・「自立」についての知識や技能を身に付ける。 (2) 「体験」や「相談」を通して卒業後の暮らしと仕事を具体的に考え、自分の課題や良さを見いだして、前向きに取り組む力を養う。 (3) 働く意義や自分の役割に気づき、学んだことを活用し、社会人としての自分や目標について考え、働き続ける態度を養う。			
担当教員	○平沼 望			
年間授業時数	35 単位時間			
使用教科書	なし			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫	備考
通年	仕事をする姿勢や態度	5	○挨拶 ◆場面や状況に適した挨拶をすることができる。 □ロールプレイを利用し、体験的に行う。 ○身だしなみチェック ◆社会人に必要な身だしなみを理解する。 □イラストを用いて分かりやすくする。 □身だしなみチェックシートを使用し、自己評価できるようにする。	
4 5 6	プロフィール作成 ルールとマナー ビジネスマナー	7	○自己プロフィールの作成 ◆自分の得意なことや苦手なこと等について考える。 □イラストを提示しながら会話をし、生徒の得意なことや苦手なことを見つける。 ○公共交通機関の利用 ◆公共交通機関や公共の場、実習先でのルールやマナーを知り意識できるようになる。 □映像やイラストを活用して視覚的に支援する。 ○公共の場、実習先でのルールやマナー「言葉づかい」「態度」 ◆敬語を使えるようになる。 ◆TPOにあった態度やマナーを理解する。 □ロールプレイングを通して実践的に学習し、身に付けられるようにする。	
7 9	仕事について考えよう ①	5	○様々な仕事、仕事のやり方 ◆いろいろな仕事があることを知る。 □個別に応じた資料や教材を使用する。	
10	仕事について考えよう ②	2	○仕事で使う道具や機械について ◆裁断機、コピー機、印刷機、シュレッダー、掃除機等の器械の使用を経験する。 □安全に配慮しながら、経験できるようにする。	
11	福祉サービスを知ろう	3	○福祉サービスの仕組み ◆身近で使えるサービスや仕組みを知る。 □映像やイラストを活用してイメージをもちやすくする。	
12	働く生活を	3	○卒業後の生活について	

	考えよう		<p>◆将来設計、趣味、余暇、健康管理などについて考える。</p> <p>□個別に応じた資料や教材を使用する。</p> <p>□将来の生活や趣味、余暇活動について、自己選択・自己決定できる場面をつくる。</p>	
1 2 3	社会人に向けて もうすぐ社会人	5 5	<p>○私の移行計画「私のこれから」作成</p> <p>◆自分の働く生活について考える。</p> <p>□先輩の生活スタイルを教材として提示し、イメージをもちやすくする。</p> <p>○社会人に向けた準備</p> <p>◆身だしなみ、法律、罰則、人権、差別、ハラスメント等、社会を取り巻く事柄を知る。</p> <p>◆ライフキャリア、キャリアアップ、ライフイベント等、これからの人生について考える。(退職、再就職、パートナーとの生活等)</p> <p>□個々に応じた資料や教材を使用する。</p>	

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第3学年	
教科等名	職業	グループ名	2 類型C	
ねらい	(1)将来の安定した生活を送る上で必要となる「地域」・「職業」・「自立」についての知識や技能を身に付ける。 (2)「体験」や「相談」を通して卒業後の暮らしと仕事を具体的に考え、自分の課題や良さを見いだして、前向きに取り組む力を養う。 (3)働く意義や自分の役割に気付き、学んだことを活用し、社会人としての自分や目標について考え、働き続ける態度を養う。			
担当教員	○前野 浩一			
年間授業時数	35 単位時間			
使用教科書	「ひとりだちするためのビジネスマナー&コミュニケーション」 (日本教育研究出版)			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい(評価の観点) □指導の工夫	備考
通年	仕事をする姿勢や態度	5	○挨拶 ◆場面や状況に適した挨拶をすることができる。 □ロールプレイやICT機器を活用して体験的に行う。 ○身だしなみチェック ◆社会人に必要な身だしなみを理解する。 □チェックシートを使用する 個別に応じた資料や教材を使用する。	
4 5 6	プロフィール作成 ルールとマナー ビジネスマナー	7	○自分プロフィール ◆自分の強み、弱み等について考える。 ○公共交通機関の利用、公共の場、実習先でのルールやマナー ◆公共交通機関や公共の場、実習先でのルールやマナーを知り意識できるようになる。 ○ビジネスマナー「電話の掛け方・取り方」「言葉づかい」 ◆簡単な電話対応を知り、実践できるようになる。 ◆敬語を使えるようになる。 □便箋使用	
7	仕事について考えよう①	2	○様々な仕事、仕事のやり方 ◆いろいろな仕事があることを知る。 □個別に応じた資料や教材を使用	
9 10	仕事について考えよう②	5	○仕事で使う道具や機械について ◆裁断機、両面テープ、紐で縛る等の道具を経験する。コピー機、印刷機、シュレッダー、掃除機等の器械の使用を経験する。 □個々の生徒に合せた教材を使用する。	
11	福祉サービスを知らう	3	○福祉サービスの仕組み ◆身近で使えるサービスや仕組みを知る。 □ICT機器などを活用し、より理解しやすくする。	
12	働く生活を考えよう	8	○卒業後の生活について ◆将来設計、趣味、余暇、健康管理などについて考える。	

			<input type="checkbox"/> ICT 機器などを活用し、より内容を理解しやすくする。	
1 2 3	社会人に向けて もうすぐ社会人	5	○私の移行計画「私のこれから」作成 ◆自分の働く生活について考える。 ○社会人に向けた準備 ◆身だしなみ、法律、罰則、人権、差別、ハラスメント等、社会を取り巻く事柄を知る。 ◆ライフキャリア、キャリアアップ、ライフイベント等、これからの人生について考える。(退職、再就職、パートナーとの生活等) <input type="checkbox"/> ICT 機器などを活用し、より内容を理解しやすくする。	

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第3学年	
教科等名	職業	グループ名	2 類型D	
ねらい	(1) 将来の安定した生活を送る上で必要となる「地域」・「職業」・「自立」についての知識や技能を身に付ける。 (2) 「体験」や「相談」を通して卒業後の暮らしと仕事を具体的に考え、自分の課題や良さを見いだして、前向きに取り組む力を養う。 (3) 働く意義や自分の役割に気付き、学んだことを活用し、社会人としての自分や目標について考え、働き続ける態度を養う。			
担当教員	神 圭一郎			
年間授業時数	35 単位時間			
使用教科書	「ひとりだちするためのビジネスマナー&コミュニケーション」 (日本教育研究出版)			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい(評価の観点) □指導の工夫	備考
通年	仕事をする姿勢や態度		○挨拶 ◆場面や状況に適した挨拶をすることができる。 □ロールプレイやICT機器を活用して体験的に行う。 ○身だしなみチェック ◆社会人に必要な身だしなみを理解する。 □チェックシートを使用する 個別に応じた資料や教材を使用。	
4 5 6	自己理解 ルールとマナー ビジネスマナー	7	○自分PR ◆自分の強み、弱み等について考え、表現する。 ○公共交通機関の利用、公共の場、実習先でのルールやマナー ◆公共交通機関や公共の場、実習先でのルールやマナーを知り意識できるようになる。 ○ビジネスマナー「電話の掛け方・取り方」「言葉づかい」 ◆簡単な電話対応を知り、実践できるようになる。 ◆丁寧な言葉を使えるようになる。 □便箋使用	
7	働く意義	2	○働く意義 ◆だれのために働くかを考える □個別に応じた資料や教材を使用	
9 10	仕事で出会うこと	5	○仕事で出会うこと ◆紐を縛る、コピー機を使う、シュレッダーを使う、掃除機を使う、エレベーターを使用するなどを体験する。 □個々の生徒に合せた教材を使用する。	
11	福祉サービスを知ろう	3	○福祉サービスの仕組み ◆身近で使えるサービスや仕組みを知る。 □ICT機器などの活用しより理解しやすくする。	
12	働く生活を考えよう	8	○卒業後の生活について ◆将来設計、趣味、余暇、健康管理などについて考える。 □ICT機器などの活用しより理解しやすくする。	

1 2 3	社会人に向けて もうすぐ社会人	5 5	<p>○私の移行計画「私のこれから」作成</p> <p>◆自分の働く生活について考える。</p> <p>○社会人に向けた準備</p> <p>◆身だしなみ、法律、罰則、人権、差別、ハラスメント等、社会を取り巻く事柄を知る。</p> <p>◆ライフキャリア、キャリアアップ、ライフイベント等、これからの人生について考える。(退職、再就職、パートナーとの生活等)</p> <p>□ICT 機器などの活用しより理解しやすくする。</p>	
-------------	------------------------	------------	--	--

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部		学 年	第3学年
教科等名	家庭		グループ名	2 類型A B
ねらい	(1)生活の営みに係る見方、考え方を働かせ、体験的な活動と知識を関連付けて、日常生活で実践する力を身に付ける。 (2)衣食住などの実習等の結果を図表や言葉を使って整理し、課題解決する。 (3)実習を通して身に付けた知識や技能を生活で活用し、社会や生活の変化に対応できる態度を養う。			
担当教員	○阪下 香奈			
年間授業時数	59.5 単位時間			
使用教科書	「いちばんわかりやすい 家事のきほん大事典」(成美堂出版)			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい(評価の観点) □指導の工夫	備考
4 5	家庭の仕事	13.6	○洗濯や清掃、買い物、調理など家庭の仕事を経験する ◆家庭生活が家族の協力によって営まれていることに気付く。 □繰り返し行うことにより見通し思って行えるようにする。	
6 7	被服製作	10.2	○毛糸を使ったモップ作り ◆毛糸の取り扱いになれる。 □実態に応じて毛糸の太さを変える。	
9	被服製作	5.1	○毛糸を使ったモップ作り ◆毛糸の取り扱いになれる。 □実態に応じて毛糸の太さを変える。	
10	簡単な調理	6.8	○ジャーマンポテト作り ◆包丁やキッチンバサミを使って安全にウインナーソーセージを安全に切ることができる。 □実態に応じてフライパンやトースターで調理を行う。	
11 12	被服製作	8.5	○毛糸を使って生活に役立つ小物を作ろう ◆毛糸を編んで生活に役立つものを作ることができる。 □実態に応じて製作するものを変える。	
1	被服製作	5.1	○毛糸を使って生活に役立つ小物を作ろう ◆毛糸を編んで生活に役立つものを作ることができる。 □実態に応じて製作するものを変える。	
2 3	生活の中の食事の役割	10.2	○生活の中で食事が果たす役割について知る ◆調理実習などの体験を通して役割を実感することができる。 □自分たちで食事のメニューを考えるなど、意欲的に取り組めるようにする。	

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部		学 年	第3学年
教科等名	家庭		グループ名	2 類型CD
ねらい	(1)生活の営みに係る見方、考え方を働かせ、体験的な活動と知識を関連付けて、日常生活で実践する力を身に付ける。 (2)衣食住などの実習等の結果を図表や言葉を使って整理し、課題解決する。 (3)実習を通して身に付けた知識や技能を生活で活用し、社会や生活の変化に対応できる態度を養う。			
担当教員	○梅田 礼実			
年間授業時数	59.5 単位時間			
使用教科書	「いちばんわかりやすい 家事のきほん大事典」(成美堂出版)			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい(評価の観点) □指導の工夫	備考
4 5	用途に応じた食品の選択	13.6	○食品の保存方法と保存期間に関係、ごみを適切に処理する必要性について知る ◆食品を選択するときに、様々な条件を考えて選択することが大切であることが分かる。 □具体例を挙げ、身近な問題として捉えることができるようにする。	
6 7	被服製作	10.2	○ミシンを用いた簡単な製作① ◆ミシンを使い、目的に応じた縫い方及び安全な使い方について知る。 □製作キットを使って簡単に作ることができる題材にする。	
9	被服製作	5.1	○ミシンを用いた簡単な製作② ◆ミシンを使い、目的に応じた縫い方及び安全な使い方について知る。 □製作キットを使って簡単に作ることができる題材にする。	
10 11	被服製作	13.6	○毛糸を使って生活に役立つ小物を作ろう ◆毛糸を編んで生活に役立つものを作ることができる。 □実態に応じて製作するものを変える	
12	食べて元気 ご飯とみそ汁	5.1	○伝統的な日常食であるご飯とみそ汁を作る。 ◆栄養バランスを考えたみそ汁を作ることができる。 □ご飯は朝のうちに米を研いでセットしておく。	
1	主菜を作ろう	5.1	○簡単な主菜を作る。 ◆火加減の調整が大切なことに気付く □野菜は加熱することで量が減ることを体験しながら気付くことができるようにする。	
2 3	生活から考えるSDGs	10.2	○SDGsについて知る。 ◆消費生活が環境に及ぼす影響について理解することができる。 □動画を交えながら身近な問題として考えられるようにする。	

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第3学年	
教科等名	外国語	グループ名	2 類型 A	
ねらい	(1) 外国の様子を知り、外国への関心をもつ。 (2) 外国の文化を体験し、自国の文化との違いを知る。 (3) 簡単な外国語を使って、自分の気持ちや考えを伝える。			
担当教員	○清水 千尋			
年間授業時数	35 単位時間			
使用教科書	「CD 付き英語カードたべもの編」(くもん出版)			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい(評価の観点) □指導の工夫	備考
4 5	挨拶・自己紹介	6	○挨拶・自己紹介をしよう ◆英語での簡単な挨拶ができる。 ◆自分の好きなことを伝えることができる。 □挨拶カード等を用意し、カードを活用しながら相手に伝えられるようにする。	
6 7	アルファベット	6	○アルファベットを覚えよう ◆アルファベットの大文字・小文字の表記・音読ができる。 □文字パズルやなぞり書き、動画の鑑賞等を通じて、文字に親しめるようにする。	
9	英単語・文法	4	○英単語や文法を知ろう ◆数字・曜日・色・食べ物・動物を表す英単語が分かる。 □歌や動画を用いて、五感を活用しながら親しめるようにする。	
10 11 12	英単語・文法	11	○英単語や文法を知ろう ◆曜日の歌、曜日の聞き方が分かる。 □歌や動画を用いて、五感を活用しながら親しめるようにする。 ○外国の文化や挨拶について知る ◆外国の歌や風習や日常生活について興味をもって体験することができる。 □興味・関心をもてるように視覚的に分かりやすい教材を活用する。ICT機器を活用する。	
1 2 3	英会話	8	○英語で話そう ◆好きなものや趣味について答えることができる。 ◆英語での質問を聞き、適切に答えることができる。 □絵カードなどの視覚的補助を用いて、選択できるようにする。	

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第3学年	
教科等名	外国語	グループ名	2 類型 B	
ねらい	(1) 外国の様子を知り、外国への関心をもつ。 (2) 外国の文化を体験し、自国の文化との違いを知る。 (3) 簡単な外国語を使って、自分の気持ちや考えを伝える。			
担当教員	○土井 幸治			
年間授業時数	35 単位時間			
使用教科書	「CD 付き英語カードたべもの編」(くもん出版)			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい(評価の観点) □指導の工夫	備考
4 5	挨拶・自己紹介	6	○挨拶・自己紹介をしよう ◆英語での簡単な挨拶ができる。 ◆自分の好きなことを伝えることができる。 □挨拶カード等を用意し、カードを活用しながら相手に伝えられるようにする。	
6 7	アルファベット	6	○アルファベットを覚えよう ◆アルファベットの大文字・小文字の表記・音読ができる。 □文字パズルやなぞり書き、動画の鑑賞等を通じて、文字に親しめるようにする。	
9	英単語	4	○英単語や文法を知ろう ◆数字・曜日・色・食べ物・動物を表す英単語が分かる。 □歌や動画を用いて、体を動かしながら親しめるようにする。	
10 11 12	外国の文化	11	○英単語や文法を知ろう ◆曜日の歌、曜日の聞き方が分かる。 □歌や動画を用いて、体を動かしながら親しめるようにする。 ○外国の文化や挨拶について知る ◆外国の歌や風習や日常生活について興味をもって体験することができる。 □興味・関心をもてるように視覚的に分かりやすい教材を活用する。ICT機器を活用する。	
1 2 3	英会話	8	○英語で話そう ◆好きなものや趣味について答えることができる。 ◆英語での質問を聞き、適切に答えることができる。 □絵カードなどの視覚的補助を用いて、選択できるようにする。	

令和5年度東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第3学年	
教科等名	外国語	グループ名	2 類型C	
ねらい	(1)外国語に楽しんで触れながら外国の言葉とその文化等に興味・関心をもつ。 (2)外国語の簡単な単語、フレーズ、文章などを使ったコミュニケーションを行うことに慣れる。			
担当教員	○小俣 晃大			
年間授業時数	35 単位時間			
使用教科書	「CD 付き英語カードたべもの編」(くもん出版)			
月	題材名	時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)	備考
4	挨拶・自己紹介・アルファベット	6	○挨拶・自己紹介をしよう ◆英語での簡単な挨拶ができる。 ◆自分の好きなことを伝えることができる。 ○英文字の読み方、書き方 ◆アルファベットの大文字、小文字が書ける。 ◆生徒の実態に応じて、教材を用意する。	
5	ローマ字表記に親しもう	6	○ローマ字表記 ◆ローマ字で50音表記や簡単な単語を表記できる。 ◆生徒の実態に応じて、個別に指導する。	
6 7	英語で表現しよう	6	○身のまわりにおける名詞、動作等の簡単な英単語 ◆ゲームや歌を楽しみながら英単語の語彙を増やすことができる。 ◆教員が見本示し、徐々に減らしていく。	
9	スポーツや外国の食べ物について知ろう	4	○スポーツや食べ物、身近なものの名称に関する英単語 ◆視聴覚資料を見て、英単語などで答えたり、言葉の響きや発音の違いを感じ取り親しんだりすることができる。 ◆世界の国旗に親しむことができる。 ◆外国の風習、日常生活等をイメージできるようにする。	
10 11 12	外国の文化や挨拶について知ろう	11	○外国の文化的特徴 ◆英語の歌や外国の風習や日常生活の写真を通して、日本と外国との違いについて気付く。 ◆ハロウィンや海外の年末行事などに関する歌や風習などを知ることができる。 ◆世界の挨拶を知り、使ってみることができる。	
1 2 3	身近な言葉と外国語を用いた会話	8	○日常生活で使う身近な英単語 ◆色、数字、食べ物、乗り物等の英単語が分かる。 ◆簡単なフレーズを用いて生徒同士でコミュニケーションが取れる。 ◆写真・絵カードを提示して楽しんで覚えられるように配慮する。	

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部		学 年	第3学年
教科等名	外国語		グループ名	2 類型D
ねらい	(1)日本語と外国語との違いに気付き、外国語や外国の文化に親しむ。 (2)身近で簡単な事柄について、外国語を聞く、話す、書くなどを通して、コミュニケーションを図ろうとする基礎的な力を育てる。			
担当教員	○上條 正人			
年間授業時数	35 単位時間			
使用教科書	「CD 付き英語カードたべもの編」(くもん出版)			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい(評価の観点) □指導の工夫	備考
4 5	紹介表現 英語で伝えてみよう	7	○自分のことを表す表現 ◆自分の興味ある事について、簡単な英語で伝え合う。 ◆相手の英語を聞き取ることができる。 □視聴覚教材を有効に活用する。 ○既習表現の復習 ◆Do you have ○○? Yes/No ◆アルファベットを読み書きできる。I like ~. を使った表現を繰り返し練習し、伝えること聞き取ること慣れる。 □視聴覚教材を有効に活用する。	ICT 機器
6 7	英語を使って会話しよう①	6	○英語の挨拶 ○曜日、日付、天気、気持ち等の英語表現 ◆基本的な表現を使って、簡単な会話を行うことができる。 □視聴覚教材を有効に活用する。	
9	英語を使って会話しよう②	4	○日常生活に関係する表現 外国の方々とのコミュニケーションで活用できる表現を知る。I want~, I need~ ◆食べ物、色、数など身近な英単語を書いたり、話したりすることができる。 □視聴覚教材を有効に活用する。	ICT 機器
10 11 12	外国の文化を知ろう	9	○外国の文化 ◆世界の伝統的な食べものや衣装を知り、興味のある文化について互いに伝え合うことができる。 □視聴覚教材を有効に取り入れる。 □体験的な活動を取り入れ、理解を促す。食材や料理に関する表現 Coffee smells good! Hamburger tastes good! などの表現をロールプレイで使用してみる。	
1 2 3	英語を使って会話しよう③ いろいろな英語を訳してみよう	9	○日常生活に関係する表現 外国の方々とのコミュニケーションで活用できる表現を知る。Can I try this on? Where is the bus stop? ◆簡単な英語の表現を学び、生活に関する質問をしたりロールプレイをしたりしながら英語の表現に親しむ。 □体験活動を取り入れる。 ○雑誌や映画など、英文表記の翻訳 ◆辞書や ICT 機器などを、英語表現を日本語に翻訳して理解する。 □視聴覚教材を有効に取り入れる。	ICT 機器

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第3学年	
教科等名	特別活動	グループ名	2 類型	
ねらい	(1) 係活動などを通じて、取り組むために必要な知識や技能を身に付ける。 (2) 自分の意見を発表したり、必要なことを話し合ったりすることを通じて、コミュニケーション力を高め、表現力を身に付ける。 (3) 周囲の友達と協力して取り組むことで、主体的、協働的な態度を身に付ける。			
担当教員	○植松千絵、上杉侑里子、伊藤裕章、阪下香奈、三中西純、小俣晃大			
年間授業時数	35 単位時間			
使用教科書	なし			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫	備考
4	話し合い	3	○1学期の目標や係決め ◆お互いを尊重し合い、相手の考えを聞いたり、自分の考えを表したりできる。 □具体例を挙げながら、目標を自己設定できるように支援する。	
5	係活動	4	○係活動（組織づくりや役割の自覚） ◆役割を自覚しながら仕事を分担して、取り組む。 □確認表など視覚支援を用いて、達成度を分かりやすくする。	
6	環境整備・清掃活動	4	○環境整備・清掃活動、各種掲示物の作成（勤労観・職業観の形成） ◆学校や他者を意識して働く気持ちを育む。 □身近な活動を通じて、勤労観や奉仕活動への意識を高められるように支援する。	
7	1学期のまとめと夏休みに向けて	3	○1学期の活動の振り返り・目標の振り返り・夏休みの生活の諸注意 ◆1学期を振り返り、自分のことや出来事を整理し表現することができる。 ◆休み中の生活について気を付けることが分かる。 □学期ごとの内容に見通しをもたせて活動する。	
9	話し合い	3	○2学期の目標や係決め（生活づくりへの参画） ◆お互いを尊重し合い、相手の考えを聞いたり、自分の考えを表したりできる。 □具体例を挙げながら、目標を自己設定できるように支援する。	
10	係活動	4	○係活動（組織づくりや役割の自覚） ◆役割を自覚しながら仕事を分担して、取り組む。（勤労観・職業観の形成） □確認表など視覚支援を用いて、達成度を分かりやすくする。	
11	環境整備・清掃活動	4	○環境整備・清掃活動、各種掲示物の作成 ◆学校や他者を意識して働く気持ちを育む。 □身近な活動を通じて、勤労観や奉仕活動への意識を高められるように支援する。	

12	2学期のまとめと冬休みに向けて	2	<p>○2学期の活動の振り返り・目標の振り返り・3学期に向けて・冬休みの生活の諸注意</p> <p>◆2学期を振り返り自分ことや出来事を整理し、表現することができる。</p> <p>◆休み中の生活についての注意点が分かる。</p> <p>□学期ごとの内容に見通しがもてるように視覚的に支援する。</p>
1	話し合い	3	<p>○3学期の目標や係決め(生活づくりへの参画)</p> <p>◆お互いを尊重し合い、相手の考えを聞いたり、自分の考えを表したりできる。</p> <p>□具体例を挙げながら、目標を自己設定できるように支援する。</p>
2	係活動	3	<p>○係活動(組織づくりや役割の自覚)</p> <p>◆役割を自覚しながら仕事を分担して、取り組む。</p> <p>□確認表など視覚支援を用いて、達成度を分かりやすくする。</p>
3	卒業に向けて	2	<p>○3年間の振り返り・目標の振り返り・卒業後の生活に向けて・春休みの生活の諸注意</p> <p>○環境整備・清掃活動、各種掲示物の作成(勤労観・職業観の形成)</p> <p>◆1年間の振り返り、自分のことや出来事を整理し、表現することができる。</p> <p>◆学校や他者を意識して働く気持ちを育む。</p> <p>□3年間の活動を振り返るために、ICT機器を活用して視覚的に分かりやすくする。</p>

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部		学 年	第3学年
教科等名	日常生活の指導		グループ名	2 類型
ねらい	(1) 集団の中での必要な生活習慣を身に付け、主体的に実践できる力を育む。 (2) 健康や身近の衛生への必要性を理解し、健全な生活を送る力を育む。 (3) 自分の役割を通して、きまりやマナーを守り、集団の中で協力をしながら行動ができる力を養う。			
担当教員	○植松千絵 ○上杉侑里子 ○伊藤裕章 ○阪下香奈 ○三中西純 ○小俣 晃大			
年間授業時数	105 単位時間			
使用教科書	なし			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫	備考
4 5	挨拶を意識しよう	20	○相手を意識して、適切な声の大きさで挨拶する ◆相手に伝わるように言葉、又は動作で、主体的に日常の挨拶・意思表示ができる。 ◆相手の顔を見て、挨拶を行うことができる。 □適切な挨拶の手本を見せる。	
6 7	衛生について意識しよう	20	○手洗いや手指の消毒について意識する ◆手洗いや手指の消毒の仕方に関して、手本を見ながら確実に行うことができる。 ◆きちんとハンカチ、ティッシュを携帯して、適切に使用することができる。 □自分で意識できるよう、繰り返し促す。 □きちんとハンカチ、ティッシュを携帯しているか確認する場面を設定する。	
9	役割をやり遂げよう	15	○自分の役割を意識して活動すること ◆決められた係を自発的に取り組むことができる。 ◆係の仕事を最後まで行い、教員に報告ができる。 ◆自分の役割だけではなく、率先して学級全体の活動に取り組もうとする。 □できたときには、大いに称賛する。	
10 11 12	ルールやマナーを守ろう	25	○時間を意識して活動すること ◆主体的に時間を意識しながら、一日の活動に見通しをもって行動することができる。 □予定表などを利用して視覚支援を行う。 ○安全な移動に関すること ◆列の順番や右側通行を守って移動ができる。 □適宜、言葉掛けを行い、意識を促す。 ○マナーを意識して活動すること ◆適切な方法や距離感で教員や友達と関わることができる。 □良い例、悪い例を提示して、選択できるようにする。	
1 2 3	身だしなみや持ち物を整えよう	25	○身だしなみに関すること ○更衣と整理に関すること ◆更衣を自分で行うことができ、衣服をきちんとたたんだり、所定の場所にしまったりして、衣服の管理ができる。 ◆自分で身だしなみを確認して、整えることができる。 □身だしなみを自分で確認する場面を設定する。 ○持ち物に関すること ◆提出物を自分から教員に提出することができる。 ◆机の中やロッカーなどの整理・保管に関して意識し、日ごろから整理整頓ができるようになる。 □保管場所に、衣服や持ち物の写真を貼り付け、視覚支援する。	

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第3学年	
教科等名	生活単元学習	グループ名	1、2類型	
ねらい	(1) 生活に密着した様々な体験活動を通し、興味や関心の幅を広げ、実生活の場で活用していける基礎的な力を身に付ける。 (2) 各行事や季節に関に関わる活動を取り入れて経験の幅を広げ、日常とは異なった活動でも見通しをもって活動に取り組むことができる。 (3) 様々な人と関わられるようになるとともに、相手を思いやる気持ちや感謝する気持ちをもつ。			
担当教員	○土井 幸治、清水 千尋			
年間授業時数	35 単位時間			
使用教科書	なし			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫	備考
4	3年生の環境に慣れよう	1	○3年生の生活について ◆学級や学年の集団生活において、生活の流れに乗り、友達との関わり方や共に活動することなどが分かる。	
	集団行動をしよう	2	○大小の集団の動き方と集団行動のルールやマナー ◆社会生活に必要な色々な決まりがあることを知り、それらを守ることを知る。 □イラストや写真を用いて視覚的に内容を伝える。	
5	進路について考えよう①	1	○現場実習に向けて ◆実習や、卒業後の生活について意識を高める。 ○集団歩行や交通ルールの理解	
	校外を安全に歩こう	2	◆ルールや決まりを守って、友達と協力して安全に活動する。 ◆時間やルール、マナー等、集団を意識する。 □事前に行先を伝え、見通しをもたせる。	
6	人の役に立つことをしよう	2	○奉仕活動 ◆地域のゴミ拾い等を行い、地域の役に立つ経験を積む。 ○季節行事について	
	季節を感じて楽しもう①	2	◆季節に合った行事を知り、楽しみながら活動に取り組める。 □視覚的に活動内容を伝えて理解を促す。	
7	進路について考えよう②	2	○現場実習の振り返り ◆実習を振り返り、頑張ったことや課題となることを考える。 ◆みんなの前で発表することができる。 ◆友達の実習の様子を聞き、関心をもつ。	
	1学期のまとめをしよう	1	○1学期の振り返りや大掃除等 ◆授業や実習を振り返ることができる。 □活動した写真を見ながら振り返りをする。	
9	2学期の生活を知ろう	1	○2学期の過ごし方や目標作成 ◆2学期の学校生活に見通しをもつ。 ○自分の進路や卒業後の生活について	
	進路について考えよう③	1	◆実習や、卒業後の生活について意識を高める。 ◆友達の発表を聞き、進路についての意識を高める。 ○季節行事について	
	季節を感じて楽しもう②	1	◆季節に合った行事を知り、楽しみながら活動に取り組める。 □視覚的に活動内容を伝えて理解を促す。	
	選挙について知ろう (生徒会役員選挙)	1	○選挙の仕組みや投票方法 ◆自分で選択することができる。 ◆生徒会役員選挙に参加し、実際の選挙を体験することができる。 □模擬投票では、生徒にとって身近なものを使用する。	
10	季節を感じて楽しもう③	4	○季節行事について ◆季節に合った行事を知り、楽しみながら活動に取り組める。 □視覚的に活動内容を伝えて理解を促す。	

11	余暇の時間を考えよう②	2	<input type="checkbox"/> 余暇の過ごし方について <input checked="" type="checkbox"/> 余暇の過ごし方について考える。 <input checked="" type="checkbox"/> 自分のやりたいことを考えたり、選んだりする。 <input type="checkbox"/> 羽ばたき祭に向けて <input checked="" type="checkbox"/> 自分たちで作り上げるという雰囲気味わう。 <input type="checkbox"/> 余暇の例、展示の例を具体的に伝えていく。	
	展示をしよう	2		
12	卒業に向けて取り組もう②	2	<input type="checkbox"/> 文集・アルバム作り等 <input checked="" type="checkbox"/> 学校生活を振り返ることができる。 <input checked="" type="checkbox"/> 自分の気持ちや考えを表現する。 <input type="checkbox"/> 季節行事について <input checked="" type="checkbox"/> 季節に合った行事を知り、楽しむことができる。 <input type="checkbox"/> 視覚的に活動内容を伝えて理解を促す。	
	季節を感じて楽しもう④	1		
1	卒業に向けて取り組もう③	2	<input type="checkbox"/> 文集・アルバム作り等 <input checked="" type="checkbox"/> 学校生活を振り返ることができる。 <input checked="" type="checkbox"/> 自分の気持ちや考えを表現する。 <input type="checkbox"/> 季節行事について <input checked="" type="checkbox"/> 季節に合った行事を知り、楽しむことができる。 <input type="checkbox"/> 視覚的に活動内容を伝えて理解を促す。	
	季節を感じて楽しもう⑤	1		
2	進路について考えよう④	1	<input type="checkbox"/> 自分の進路や卒業後の生活について <input checked="" type="checkbox"/> 実習や、卒業後の生活について意識を高める。 <input checked="" type="checkbox"/> 友達の発表を聞き、進路についての意識を高める。 <input type="checkbox"/> 3年生を送る会に向けて <input checked="" type="checkbox"/> 仲間と協力して練習、活動ができる。 <input type="checkbox"/> 一人一人が活動に参加できるように、個に応じた内容にする。	
	3年生を送る会を楽しもう	1		
3	卒業式を成功させよう	2	<input type="checkbox"/> 卒業式に向けて <input checked="" type="checkbox"/> 卒業に向けて意識を高める。 <input checked="" type="checkbox"/> 学校生活を振り返り、今までかかわってくれた方々への感謝の気持ちをもって臨む。 <input checked="" type="checkbox"/> 儀式に臨む態度・姿勢を身に付ける。 <input type="checkbox"/> 繰り返し学習を行い、態度や姿勢を意識させる。	

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第3学年	
教科等名	総合的な探究の時間	グループ名	2類型	
ねらい	(1) 季節や地域社会に関わる探究の過程において、課題の解決に必要な知識、技能を身に付け、個々の実生活に活用していく。 (2) 課題の解決に向けての仮説を立てたり、まとめたりすることを通じて表現力を身に付ける。 (3) 各行事や季節、地域社会についての体験を通じて、主体的、協働的に取り組む態度を身に付ける。			
担当教員	○三中西 純 ○行縄 昭雄			
年間授業時数	35 単位時間			
使用教科書	なし			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫	備考
4	新入生歓迎	2	○新入生歓迎 ◆新入生歓迎会で、先輩としての態度を見せる。	
5	校外学習に行こう	4	□既習内容を発表する。 ○校外学習事前・事後学習 ◆校外学習先を調べ、活動を計画し発表することができる。 □ICT 機器などを使用する。	
6	SDG s について知ろう・行動しよう	5	○SDG s 目標の 17 項目 ◆17 項目から現状を知り、できることを考える。 □ICT 機器などを使用する。 ○江戸街道公園など近隣の地域清掃 ◆羽村市のごみ分別ルールを理解し、分別しながらごみ取集をする □衛生面に配慮する。	
7	進路選択について考えよう	2	○実習報告会 ◆友達の体験を聞き、自分の進路について考えることができる。 □学年で類ごとに分かれリモートで発表しあう。	
9	羽村特別支援学校 50 周年について	2	○羽村特別支援学校 50 周年式典の装飾作り ◆羽村特別支援学校 50 周年記念キャラクターの装飾を作る。 □仲間と協力して作品を作り上げる。	
10	修学旅行に行こう	8	○修学旅行事前・事後学習 ◆地域の風習や文化を知り興味、関心をもつ。 ◆自分ができることを生かしながら、協力して活動に取り組み、他者や社会と関わる力を伸ばす。	
11				
12	卒業に向けて	2	□ICT 機器などを使用する。 ○卒業アルバム作り ◆卒業アルバム個人写真撮影 □社会人として立派な身だしなみをする。	

	安全を意識して生活しよう		<p>○セーフティ教室</p> <p>◆インターネットやSNS等を利用する際の危険について理解し、安全に生活することができる。</p> <p>□18歳成人のポイントを指導する。</p>	
1 2 3	<p>校外学習に行こう</p> <p>卒業に向けて協力して活動しよう</p> <p>社会人としての常識を理解しよう</p>	<p>5</p> <p>2</p> <p>2</p>	<p>○校外学習事前・事後学習</p> <p>◆校外学習先を調べ、活動を計画し発表することができる。</p> <p>□ICT機器などを使用する。</p> <p>○卒業に向けて</p> <p>◆学校における全ての過程を修了することを認識し、仲間と協力して練習したり、活動したりすることができる。</p> <p>□後輩たちに先輩らしいメッセージを残す。</p> <p>○働く生活、ストレスマネジメント、ビジネスマナー</p> <p>◆ビジネスマナーを確認し、社会人になる意識を高めることができる。</p> <p>◆卒業後の社会生活に向けて、自己の健康管理、経済生活、基本的な制度を理解する。</p> <p>□外部の方々の話しを今後の人生の参考にする。</p>	